

# おくすりの用法・用量

薬を安全に、そして効果的に使うために、薬ののみ方・使い方を守ることが大切です。



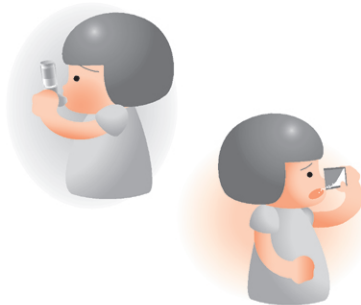
処方せんやおくすりの説明書などには、のみ方や使い方を表す「用法」、そしてのむ量や使う量を表す「用量」が記載されています。

用法・用量どおりに使えないと思われたときは医師あるいは薬剤師にご相談ください。

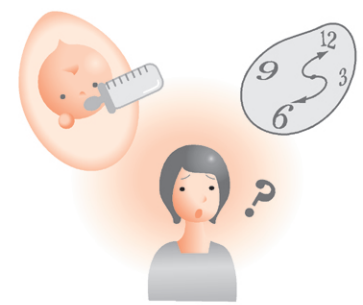
## ● お子さまは「用法・用量」どおりに薬を使っていますか？



幼稚園や学校などで昼の薬が時間どおりに服用できない



薬がうまく使えない(吸入薬がうまく吸えない、粉薬がのめないなど)



食事がミルクや母乳のため1日3回毎食後の薬をいつのんでよいかわからない

## \*用法・用量を守らないとこのようなことが起こります。



**1日3回食後の薬を幼稚園でお昼分がのめないからと2回にしてしまった。**

→1日の用量が少なくなるため、効果が現れないことがあります。朝に昼の分とあわせて2回分のむと1回の用量が多くなり副作用が現れることがあります。もし、のめないときは医師や薬剤師に相談してください。



**頓服薬として解熱薬を1日に何度も使ってしまった。**

→解熱薬を何度も使うことによって、薬の副作用が出るだけでなく、体温が上がったり下がったりして体力が消耗してしまうことがあります。何度も使わなければならないということは、その薬の効果が悪い場合も考えられます。用法どおりに薬が使えない場合は医師や薬剤師に相談することが大切です。

用法・用量どおりに使えない時は、医師や薬剤師に相談してください。一緒に対応方法を考えましょう。